

平成28年8月27日(土)

老球の細道262

ゲーム事前のマネジメント 俺流「エントリーメンバーの選出」

会津バスケットボール協会 室井 富仁

昨日高校の「1年生大会」を観戦しに会津工業高校の体育館に足を運んだ。どこのチームもメンバーが少なく、合同チームで参加しているチームも数多く見られた。神様マイケルジョーダンが大活躍し、漫画「スラムダンク」が社会現象になっていた20年前、私は会津高校に在職していたが、1学期は部員が50名を超える状態が何年か続いていた。

この当時の悩みは、大会前に誰をエントリーメンバー(15名)に選ぶかということだった。各学年10名以上おり、ほとんどの生徒が真面目に頑張っていたので、できるだけ多くの選手にユニフォームを着せたかったのだが現実はそうはいかない。

どのようにしてエントリーメンバーを選出するか。多自分なりのコーチングフィロソフィーに基づいた原則を確立しておくことは大切なゲームマネジメントの一つである。

1・選出の手順：

- ①エースを決める：チームスタイルはエースによって決定されるから一番に決定。
- ②スタメンを決める：通常チームとして最強メンバーになる。
- ③控えプレイヤーを決定する：それぞれのポジション(1番、2番、3番、4番、5番)のバランスをとり、各ポジション2名ずつ配置できるようスタメン以外の5人を決める。残りの5名のうち3名はそれぞれのスペシャリストを選ぶ。例えば、シューター、デイフェンダー、リバウンダー等である。最後の2名は下級生の中から将来性がある者、もう一人は上級生の中から下手だが真面目に取り組んできた者などを選ぶ。

2・考慮すべき個人的特性

- ①スキル：シュートが上手。ミスが少ない。デイフェンスを頑張れる。リバウンド、ルーズボールに強い。
- ②メンタル：意欲がある。闘争心がある。努力家。協調性がある。自制心があり切れない。
- ③身長：身長は鍛えられない。サイズのある選手を優先する。
- ④練習参加：練習をさぼらない。最優先事項である。
- ⑤学業：学業成績で「赤い稲妻」の異名を持つ赤点保持者には学業優先で配慮する。

3・選出の方法：公平に選出するために、平日頃からゲーム、練習での個人スタッツを記録しておく。アシスタントコーチ、キャプテン、マネージャーとも相談し、ヘッドコーチの見えない面も把握しておく。選出が困難な場合は選手たちに投票させるという方法も考えられるが、最終的にはヘッドコーチが決断する。鬼にならなければいけない時である。

4・選出の留意点：選手が納得するためにも公平であること。チームワークを崩さないためにもチームスプリットと人間性を重んじること。トラブルメーカーは試合に集中できなくなるので最初から外す。また、大事な場面での起用のためにプレッシャーに強い者と弱い者を把握しておくことも重要である。

選手はコーチが必要と感じる人数だけが育つ。選手がゲームで活躍するためには、自分がコーチに信頼されているという感じを持たせること。選んだかぎりにはできるだけゲームに出場させるチャンスを作るべきである。